取扱説明書



Clavinova®

CLP-920

YAMAHA

このたびは、ヤマハクラビノーバCLP-920をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。CLP-920の優れた機能を十分に生かして演奏をお楽しみいただくため、本書をお読みください。お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

取扱説明書(本書)について

取扱説明書(本書)は、「準備」「本編」「付録」の3部構成になっています。

- **準備**　最初にお読みください。
- **本編**　クラビノーバの使い方を詳しく説明しています。
- **付録**　クラビノーバをMDP10(「伴奏くん」)と組み合わせて楽しむ方法、その他の資料を掲載しています。

「パソコン活用マニュアル こんなことできます!クラビノーバ+パソコン」について

クラビノーバとパーソナルコンピューターを接続してどんなことができるのか、また接続に必要なものや接続の仕方などについて、わかりやすく説明したオンラインマニュアル(PDF)を、インターネットのホームページ(下記)に掲載しております。閲覧/ダウンロードしてぜひご活用ください。
クラビノーバホームページ　http://www.yamaha.co.jp/product/cl/
マニュアルライブラリー(電子楽器/XG)のクラビノーバのページに掲載してあります。初回だけ登録していただくことが必要です。http://www2.yamaha.co.jp/manual/emi/index_j.html

表記上の決まり

【　　】の意味

【　　】:　パネル上にあるボタン類を示します。この場合、ボタン、スライダー、ジャック(端子)といった言葉は省略します。たとえば、マスターボリュームのスライダーは、文章中で【MASTER VOLUME】と表記します。

⇨ の意味

○○○ ⇨ ※※※　○○○の操作を行なった結果、※※※の状態になることを示しています。(操作の結果を示します。)

(用語集アイコン)、Point、(注意アイコン)、?の意味

- (用語集アイコン)　(用語集)クラビノーバに関する用語や、専門用語を説明しています。
- Point　(ワンポイント説明)機能の詳細や、補足事項を説明しています。
- (注意アイコン)　(ご注意いただくこと)操作するときにご注意いただく内容、できない内容を説明しています。
- ?　(クエスチョン)~するには? ~すると? といった目的や、機能・操作上の疑問にお答えしています。

目　次

準　備

本　編

付　録

目的別目次

安全上のご注意　ご使用の前に､必ずこの｢安全上のご注意｣をよくお読みください。

ここに示した注意事項は､製品を安全に正しくご使用いただき､あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
注意事項は､危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために､誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を｢警告｣と｢注意｣に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので､必ずお守りください。
お子様がご使用になる場合は､保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願い致します。

記号表示について

この機器の裏側に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注 意 感電の恐れあり キャビネットをあけるな	注意：感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。 この機器の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。 点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または 巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

△記号は、危険、警告または注意を示します。上記の場合、⚠は機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。また、⚠は注意が必要なことを示しています。

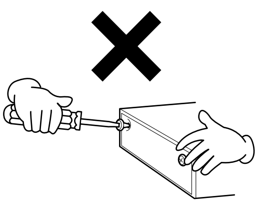
⊘記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

●記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

＊お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告　この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

この機器の内部を開けたり､内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災､または故障などの原因になります。異常を感じた場合など､機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また､本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
感電や火災､または故障の原因になります。

電源コード/プラグがいたんだ場合､または､使用中に音が出なくなったり異常なにおいや煙が出た場合は､すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災､または故障のおそれがあります。至急､お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると､感電や火災のおそれがあります。

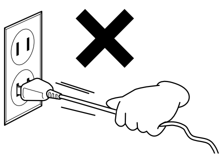
手入れをするときは､必ず電源プラグをコンセントから抜く。また､濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

電源プラグにほこりが付着している場合は､ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

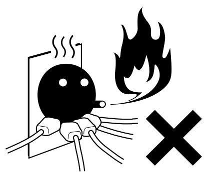
⚠注意　この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり､無理に曲げたり､傷つけたりしない。また､電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し､感電や火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは､電源コードを持たずに､必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して､感電や火災が発生するおそれがあります。



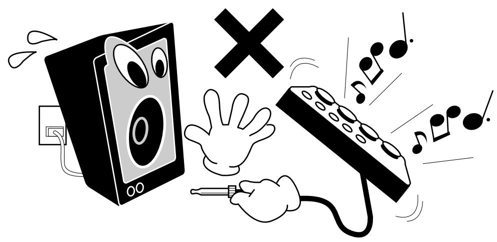
タコ足配線をしない。
音質が劣化したり､コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは､必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電､ショート､発火などの原因になります。

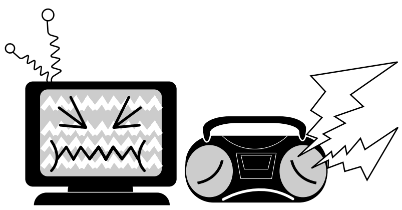
準備

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にしてください。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布でふいてください。

本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

キーカバーで指などをはさまないように注意する。また、キーカバーのすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。

キーカバーや鍵盤のすき間から金属や紙片などを落とさない。
感電、ショート、発火や故障などの原因になります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

本体を壁につけない。
換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、火災が発生するおそれがあります。

組み立てる前に、必ず本書または別紙の組み立て方の説明をよくお読みください。
手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

イスについて

イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。
このイスは楽器演奏用です。イスを遊び道具や踏み台にすると、イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

イスには二人以上ですわらない。
イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

イスを長期間使用すると、イスのボルトがゆるむことがあります。
ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

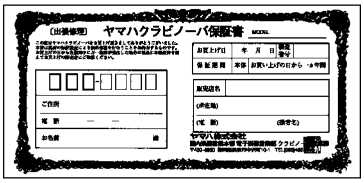
楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

* この製品は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

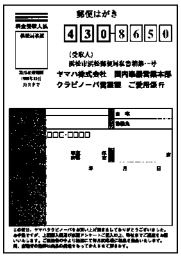
準備

付属品（お確かめください）

▼ 保証書



▼ ご愛用者カード



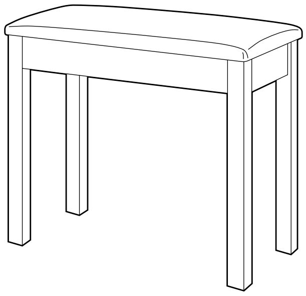
▼ 取扱説明書（本書）



▼ ヘッドフォン



▼ 専用イス



クラビノーバのお手入れ

お手入れは、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布でふいてください。鍵盤の頑固な汚れには「エレクトーン・クラビノーバ用鍵盤クリーナー」をお使いください。
「エレクトーン・クラビノーバ用鍵盤クリーナー」　S：\400（税別価格）　H：\350（税別価格）

ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。また、クラビノーバの上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かないでください。
クラビノーバのパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

クラビノーバのお取り扱いについて、ご使用の前に必ず、P４の「安全上のご注意」をお読みください。

調律について
クラビノーバでは、調律は必要ありません。

ご引っ越しの際は
通常の荷物と一緒にお運びいただけます。組み立てた状態でも、組み立てる前の部品に分解した状態でも問題ありませんが、本体は立てかけたりせず、必ず水平に置いてお運びください。

クラビノーバでこんなことができます

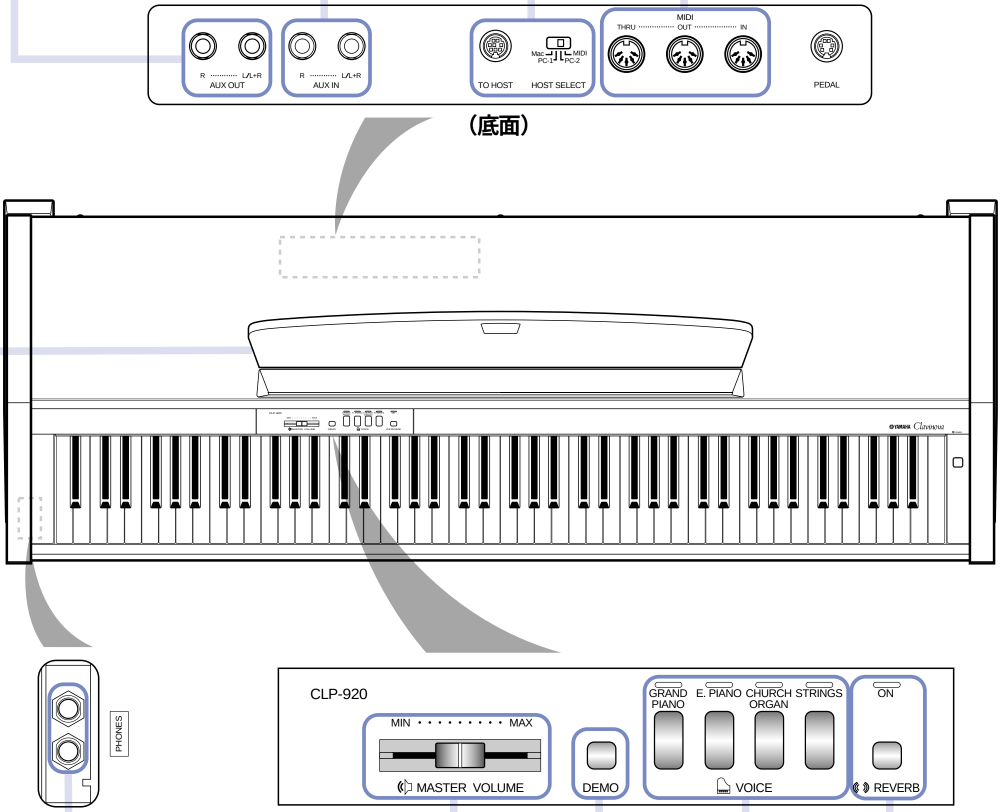
ヤマハクラビノーバCLP-920は、ヤマハ独自のサンプリング音源システム「AWMステレオサンプリング」による豊かな音色と、鍵域により鍵盤の重さを変えてグランドピアノのタッチ感に近付けた「グレードハンマー鍵盤」による自然な弾き心地を備えた電子ピアノです。
GRAND PIANO(クランドピアノ)の音色は、フルコンサートグランドピアノから新たにサンプリングしました。

カセットテープレコーダーなどを接続して、ご自身の演奏を録音できます。(P21)

外部機器の音をクラビノーバから出すことができます。(P21)
→MDP10(「伴奏くん」)(P28,33)
→EMR1(P33)

パーソナルコンピューターと接続して、パーソナルコンピューター用の音楽ソフトを楽しむことができます。(P22～25)

MIDI(ミディ)機器を接続して、MIDI(ミディ)を活用することができます。(P19～20)
→MIDI(ミディ)について(P19)



(底面)

ヘッドフォンで練習ができます。(P9)

音色ごとのデモ曲を聞くことができます。(P13)

音に残響(リバーブ)をかけることができます。(P15)

音量を調節できます。(P9)

グランドピアノをはじめとした4種類の音色をお楽しみいただけます。(P14)

譜面立てをはずすと、クラビノーバの上にノート型パーソナルコンピューターなどを置くことができます。(P8)

準備

ご使用前の準備

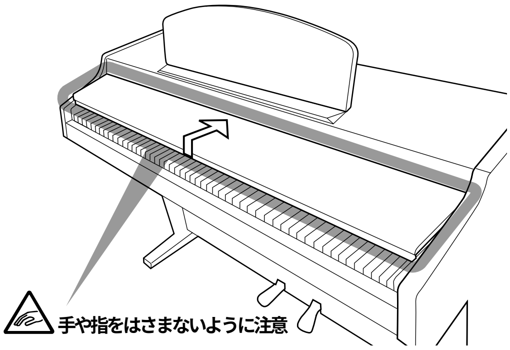
キーカバーについて

開けるとき

少し持ち上げて、奥へ押し込みます。

閉めるとき

手前に引いて、静かに降ろします。

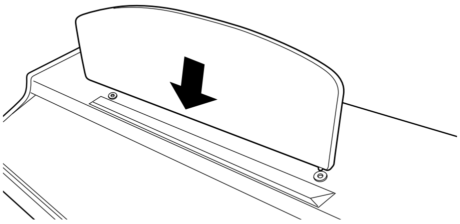


キーカバーを開閉するときは、両手で静かに行ない、途中で手を離さないでください。
また、ご自分や周りの方、特にお子様などが、キーカバーの端と本体の間に手や指をはさまないようご注意ください。

キーカバーを開けるとき、キーカバーの上に金属や紙片などを置かないでください。本体の内部に落ちて取り出せなくなり、感電、ショート、発火や故障などの原因になります。

譜面立てについて

図のように、クラビノーバ上面の穴に差し込んで立てます。



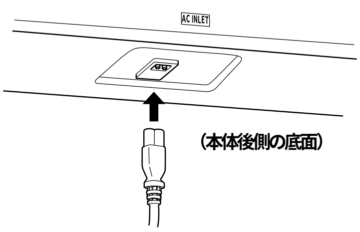
※ 譜面立てをはずすと、クラビノーバの上にノート型パーソナルコンピューターなどを置くことができます。

電源を入れる

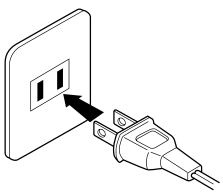
1. 電源コードを接続する

最初に本体側のプラグを差し込み、次にコンセント側(家庭用AC100V)のプラグを差し込みます。

①



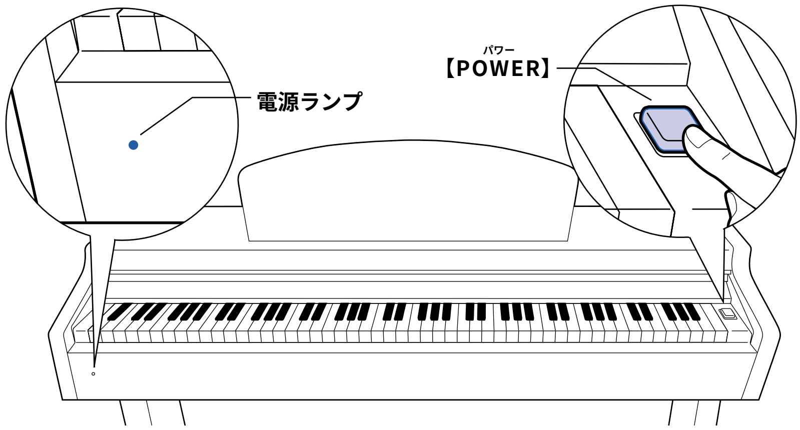
②



2. 電源を入れる

本体パネル右の【POWER】を押すと、電源が入ります。

⇨ クラビノーバ前面左の電源ランプが点灯します。



電源を切るときは、もう一度【POWER】を押します。

⇨ クラビノーバ前面左の電源ランプが消灯します。

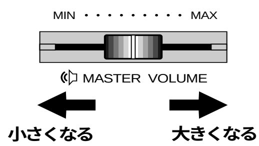
POWER＝電源

Point 電源ランプについて…

クラビノーバのご使用後、電源を切り忘れてキーカバーを閉めてしまった場合、電源ランプの点灯が、電源が入ったままであることを知らせてくれます。

音量（ボリューム）調節

本体パネル左の【MASTER VOLUME】を左右に動かして調節します。実際に鍵盤を弾いて音を出しながら、音量を調節してください。



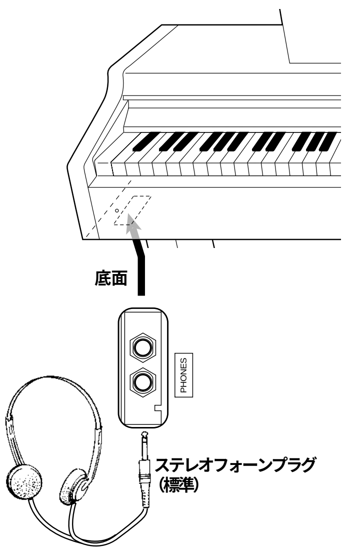
MASTER VOLUME
＝全体の音量

Point 【MASTER VOLUME】で、【PHONES】の出力レベルやAUX INからの入力レベルも調節できます。

ヘッドフォンを使う場合

ヘッドフォンを【PHONES】端子に接続して使います。
ヘッドフォンを接続するとクラビノーバ本体のスピーカーからは音が出ません。
また、【PHONES】端子は2つありますので、ヘッドフォンを2本接続して2人で演奏を楽しむこともできます。（1本だけ接続する場合は、どちらの端子をご使用いただいても構いません。）

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。
聴覚障害の原因になります。



Point 別売ヘッドフォン…

YAMAHAヘッドフォン HPE-160
（税別価格：5,500円）

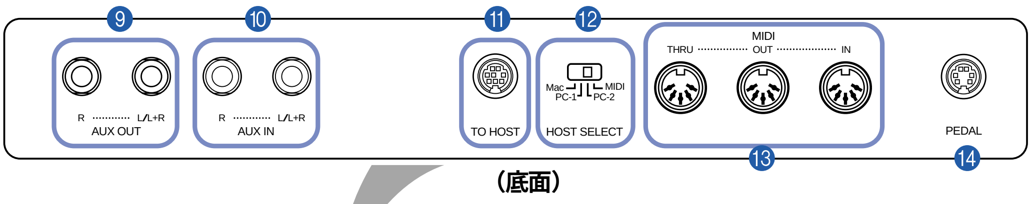
準備

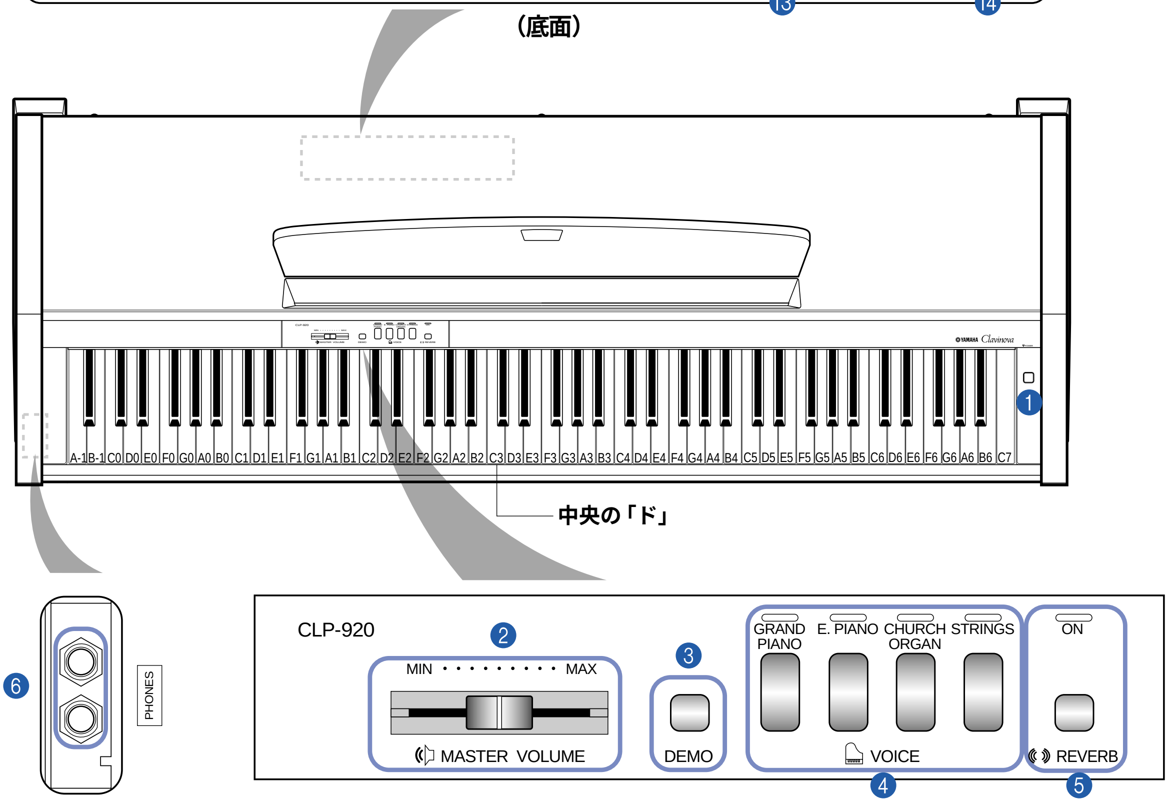
本　編

● クラビノーバの使い方を詳しく説明しています。

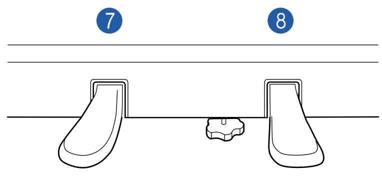
各部の名前

端子パネル





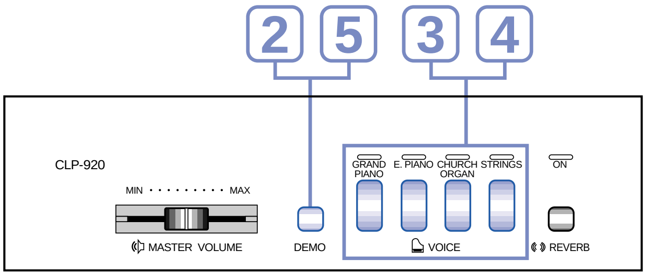
トップパネル



本編

デモ曲を聞く

クラビノーバには、音色ごとに1曲ずつデモ曲が入っています。聞いてみましょう。



操作

1 電源を入れる

(まだ電源を入れていない場合)【POWER(パワー)】を押します。

⇨ 電源が入ります。

音量はデモ曲を再生しながらでも調節できますが、【MASTER VOLUME(マスター ボリューム)】を中程まで上げておいてください。

2 デモ曲モードに入る

【DEMO(デモ)】を押します。

⇨ 音色ボタンのランプが流れるように点滅します。

3 選曲と再生スタート

聞きたいデモ曲の音色ボタンを押します。

⇨ デモ曲の再生がスタートします。その後、ストップするまでGRAND PIANO(グランドピアノ)→E.PIANO(エレクトリックピアノ)→CHURCH ORGAN(チャーチオルガン)→STRINGS(ストリングス)の順にデモ曲が連続して再生されます。

音量の調節

デモ曲を聞きながら【MASTER VOLUME(マスター ボリューム)】で音量を調節します。

4 再生ストップ

再生をストップする場合は、再生中の音色ボタン(再生中は点滅しています)を押します。

5 デモ曲モードを抜ける

【DEMO(デモ)】を押します。

⇨ 音色ボタンのランプの流れるような点滅が止まります。

Point デモ曲の曲名リスト…

音色ごとのデモ曲には、各音色の特徴がよくわかる曲が選ばれています。デモ曲一覧をP29に掲載しています。

デモ曲の再生データはMIDI(ミディ)送信されません。また、デモ曲モード中はMIDI(ミディ)受信を行ないません。

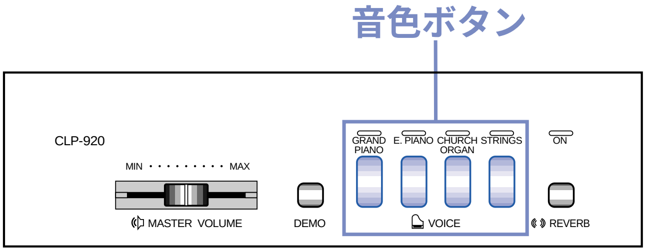
モードとは…

ある機能を実行できる状態を意味します。ここでは、デモ曲を再生できる状態のことを「デモ曲モード」と呼んでいます。

本編

音色を楽しむ

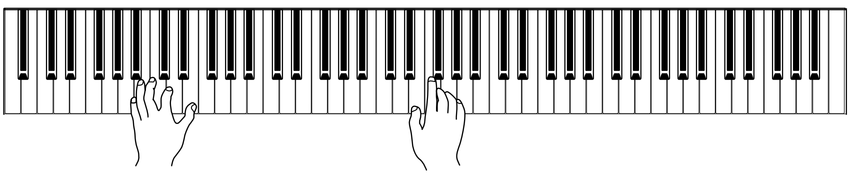
音色を選ぶ



操 作

使いたい音色ボタンを押します。
⇨ ランプが点灯します。

【MASTER VOLUME(マスター ボリューム)】で音量を調節しながら演奏してください。



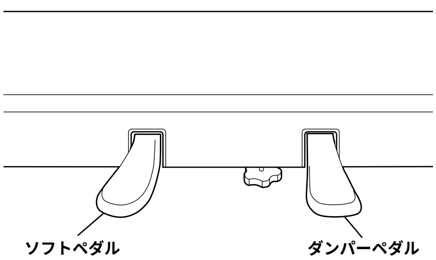
Point 音色の特徴をつかむには…
音色ごとのデモ曲を聞いてみてください。(P13)
音色一覧(P29)もご参照ください。

音色ボタンの下に印刷されている「VOICE(ボイス)」は、「声」や「音」などの意味があります。

Point タッチにより音の強弱を付けることができますが、【CHURCH(チャーチ) ORGAN(オルガン)】の音色では、タッチによる音の強弱は付きません。

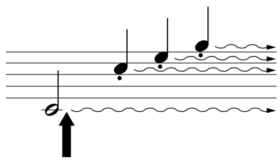
ペダルを使う

ペダルには、右のペダル(ダンパーペダル)と左のペダル(ソフトペダル)があります。
どちらもピアノ演奏でよく使われます。



右のペダル(ダンパーペダル)

このペダルを踏んでいる間、弾いた音を、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。



ここでダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く

? ダンパーペダルが効かない、または踏んでいないのに音が長く響いてしまう・・・
ペダルコードのプラグが【PEDAL(ペダル)】端子に差し込まれていないと思われます。確実に差し込んでください。(P35の[4])

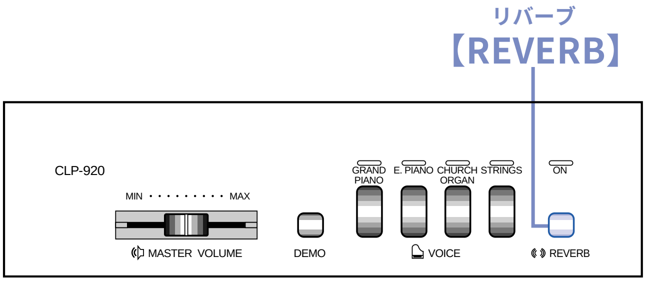
左のペダル(ソフトペダル)

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた音の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくすることができます。(ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけたい音を弾く直前に踏みます。)

本編

音に残響を付ける(【REVERB】)

音に残響を付ける効果のことをリバーブと言います。リバーブをかけるとコンサートホールで演奏しているような臨場感を味わうことができます。
リバーブのON/OFFの設定は音色ごとに行います。電源を入れたときは、どの音色もONになっています。

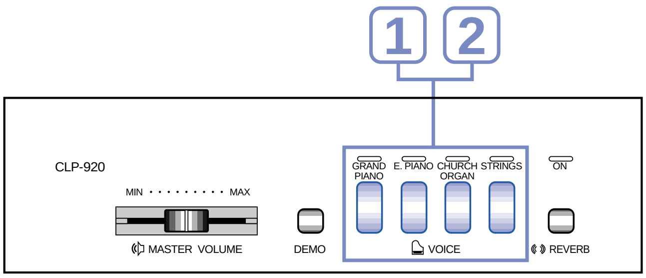


操 作

【REVERB】を押すごとにON/OFFが切り替わります。
⇨ ONのときランプが点灯します。

2つの音色を混ぜる(デュアル)

2種類の音色を混ぜて使うことができます。2つの音色でメロディをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出したりすることができます。



操 作

1 デュアルモードに入る

2つの音色ボタンを同時に押します。(または1つの音色ボタンを押したままもう1つの音色ボタンを押します。)
⇨ 2つの音色ボタンのランプが点灯します。

2 デュアルモードを抜ける

新たに1つの音色ボタンを押すとデュアルモードを抜け、通常の演奏状態に戻ります。

デュアル=2つ

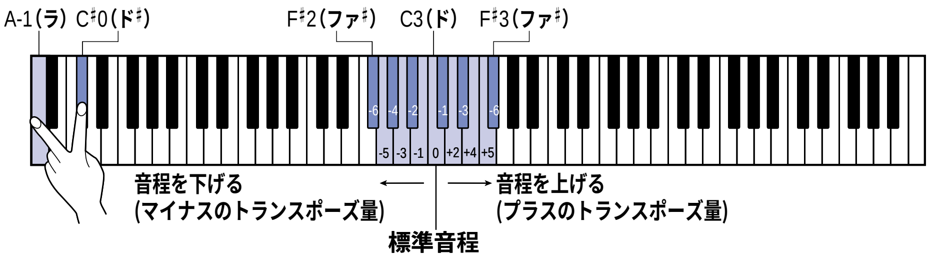
Point デュアルのときの【REVERB】…
どちらかの音色のリバーブがONであれば両方の音色にリバーブがかかります。

本編

キー(調)を変える(トランスポーズ)

弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さにキー(調)を合わせたり、演奏する曲を移調したりすることができます。「−6半音」〜「＋6半音」の範囲で半音単位でトランスポーズ量を設定できます。
たとえばトランスポーズ量を「＋5」に設定すると、「ド」の鍵盤を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「ハ長調」の弾きかたで「ヘ長調」の演奏になります。電源を入れたときは、いつも標準音程(トランスポーズ量0)になっています。

操 作



1 「A-1」(ラ)と「C♯0」(ド♯)の鍵盤(左端の白鍵と黒鍵)を同時に押さえたままにします。

2 設定したいトランスポーズ量の鍵盤を、「F♯2」(ファ♯)〜「F♯3」(ファ♯)の鍵盤の中から1つ選んで押します。

3 「A-1」(ラ)と「C♯0」(ド♯)の鍵盤(左端の白鍵と黒鍵)を離します。

トランスポーズ:移調する
移調:曲全体の音程を上げたり下げたりしてキー(調)を変えること。

Point トランスポーズをかけた場合の発音域について…
トランスポーズによって、元の88鍵の最高音(C7)より高くなる音は1オクターブ下の音で、元の88鍵の最低音(A-1)より低くなる音は1オクターブ上の音で発音します。

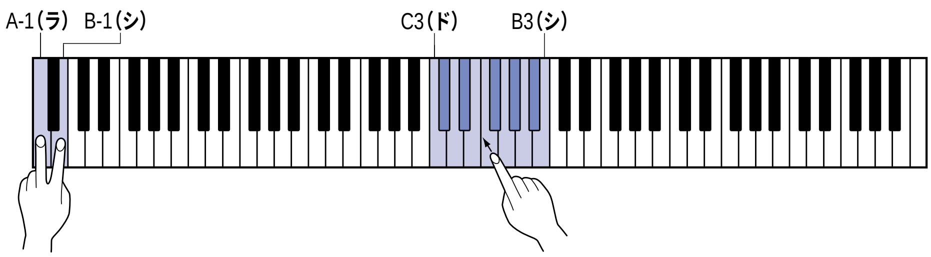
音程を微調整する(チューニング)

全体の音程を微調整することができます。合奏するときや、CDに合わせて演奏するときなど、他の楽器やCDの再生音などと正確に音程を合わせたいときに使います。
通常、A3の鍵盤の音程を基準としてHz(ヘルツ)という単位で表します。クラビノーバでは、A3=427.0Hz〜453.0Hzの範囲で約0.2Hz刻みで調整します。電源を入れたときは、標準音程(A3=440.0Hz)になっています。

操 作

本編

音程を上げる



1 「A-1」(ラ)と「B-1」(シ)の鍵盤(左端の白鍵2つ)を同時に押さえたままにします。

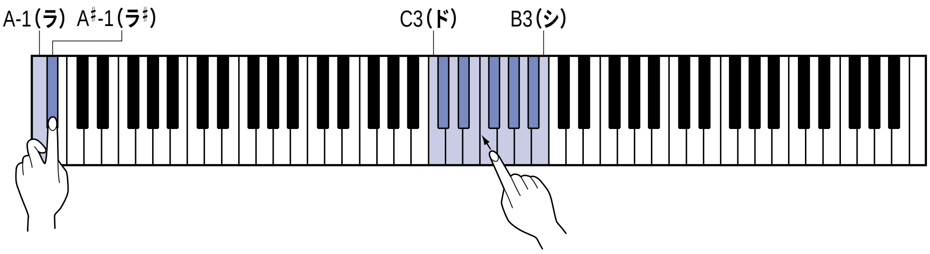
Hzとは…
音の高さを示す単位です。音の高さは音波の振動数によって決まります。1秒間に何回振動するかという数値をHz(ヘルツ)単位で表します。

2 「C３」(ド)〜「B３」(シ)の中の１つの鍵盤(どの鍵盤でもいい)を押します。

1回押すごとに約0.2Hzずつ音程が上がりますので、音を聞きながら、他の楽器やCDの再生音などと音程を合わせてください。

3 「A-1」(ラ)と「B-1」(シ)の鍵盤(左端の白鍵２つ)を離します。

音程を下げる



1 「A-1」(ラ)と「A♯-1」(ラ♯)の鍵盤(左端の白鍵と黒鍵)を同時に押さえたままにします。

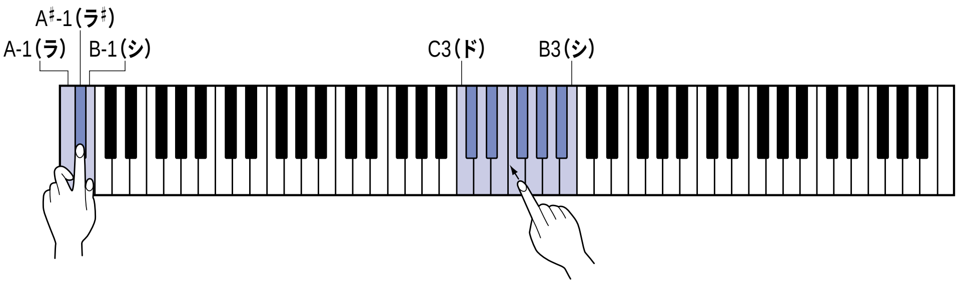
2 「C３」(ド)〜「B３」(シ)の中の１つの鍵盤(どの鍵盤でもいい)を押します。

1回押すごとに約0.2Hzずつ音程が下がりますので、音を聞きながら、他の楽器やCDの再生音などと音程を合わせてください。

3 「A-1」(ラ)と「A♯-1」(ラ♯)の鍵盤(左端の白鍵と黒鍵)を離します。

本編

標準音程(A3=440.0Hz)に戻す



1 「A-1」(ラ)と「A♯-1」(ラ♯)「B-1」(シ)の鍵盤(左端の白鍵2つと黒鍵1つ)を同時に押さえたままにします。

2 「C3」(ド)～「B3」(シ)の中の1つの鍵盤(どの鍵盤でもいい)を押します。

調整した音程の量には関係なく、1回押せば標準音程に戻ります。

3 「A-1」(ラ)と「A♯-1」(ラ♯)「B-1」(シ)の鍵盤(左端の白鍵2つと黒鍵1つ)を離します。

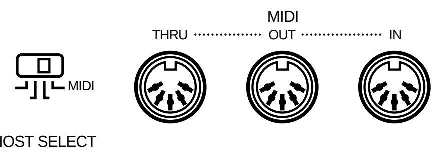
本編

MIDIに関する設定をする

MIDIについて

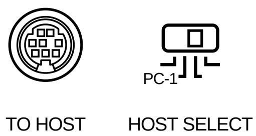
MIDI(Musical Instrument Digital Interface)とは、MIDI端子を備えたMIDI機器間や、MIDI機器とパーソナルコンピューター間で演奏データや命令を送受信しあうための、各種送受信データ様式についての統一規格です。
MIDI機器間（MIDI機器とパーソナルコンピューター間）でMIDIデータを送受信することにより、クラビノーバから外部のMIDI機器の演奏をコントロールしたり、外部のMIDI機器やパーソナルコンピューターからクラビノーバをコントロールしたりすることができます。

MIDI端子（底面にあります）
MIDI【IN】：MIDIデータを受信する端子です。
MIDI【OUT】：MIDIデータを送信する端子です。
MIDI【THRU】：MIDI【IN】から入ってきたデータをそのまま送信する端子です。



MIDIケーブル
専用のMIDIケーブルをご用意ください。

【TO HOST】端子
クラビノーバとパーソナルコンピューターを接続する場合に使います。



Point MIDIでは、演奏データや命令を、数値に置き替えたデータで送受信します。

Point MIDI機器の中でも、機種ごとに送受信できるMIDIデータの内容が同じではないため、接続しているMIDI機器間で共通に扱えるデータや命令だけが送受信できることになります。共通に扱えるデータや命令は、各機種の「MIDIインプリメンテーションチャート」を照合して調べることができます。クラビノーバのMIDIインプリメンテーションチャートはP32に掲載されています。

MIDI端子を使う場合は、HOST SELECTスイッチを【MIDI】に設定してください。（P22）

Point **YAMAHA MIDIケーブル…**
MIDI01（長さ1m、税別価格：800円）
MIDI03（長さ3m、税別価格：1,100円）
MIDI15（長さ15m、税別価格：3,000円）

【TO HOST】端子を使う場合は、HOST SELECTスイッチを接続するコンピューターの種類に応じて、正しく設定してください。（P24）

Point MIDIについての詳しい知識は、各種の音楽雑誌や書籍で得ることができます。

MIDI送信/受信チャンネルの設定

MIDI機器どうし(MIDI機器とパーソナルコンピューター間)で、演奏データや命令を送受信するためには、送信側と受信側でMIDIチャンネル（1～16チャンネル）を合わせておく必要があります。ここでは、クラビノーバからMIDIデータを送信するときのチャンネル(MIDI送信チャンネル)と、クラビノーバがMIDIデータを受信するときのチャンネル(MIDI受信チャンネル)を設定します。

操 作

1 「A-1」（ラ）と「C♯0」（ド♯）の鍵盤を同時に押さえたままにします。

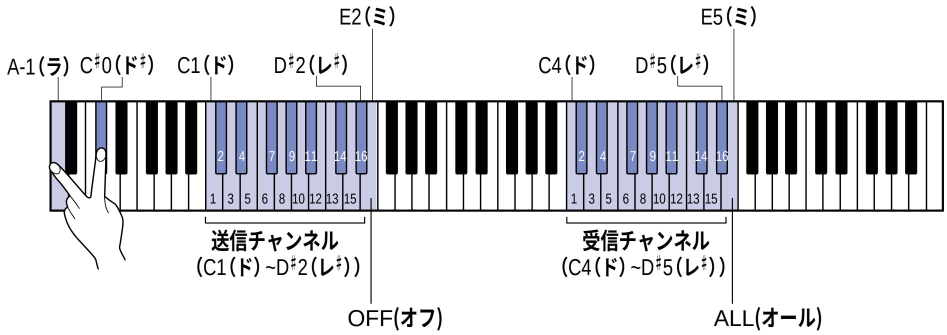
Point **デュアルのときの送信チャンネル…**
選んだ2つの音色のうち、左側のボタンの音色はここで設定した送信チャンネルで、右側のボタンの音色は設定した送信チャンネルの次のチャンネルで送信されます。ただし、送信チャンネルを「OFF」に設定した場合はどちらの音色も送信されません。

デモ曲の再生データはMIDI送信されません。

本編

2 設定したいMIDI送信チャンネル/MIDI受信チャンネルが割り当てられている鍵盤(*注)を押します。

*注: 下図を参照してください。送信チャンネル「OFF」を選ぶと、クラビノーバからは何も送信されません。受信チャンネル「ALL」を選ぶと、すべてのチャンネルのデータを受信します。
電源を入れたときにはいつも、MIDI送信チャンネルは「1」、MIDI受信チャンネルは「ALL」に設定されています。



3 「A-1」(ラ)と「C♯0」(ド♯)の鍵盤を離します。

Point 受信チャンネルが「ALL」の場合は…
「マルチティンバー」と呼ばれる仕様になっており、外部MIDI楽器(パーソナルコンピューター)から送信される複数のチャンネルのデータを、同時にチャンネルごとに独立して受信します。
この状態で、シーケンサーなどから送信される複数のチャンネルを使って作られた演奏データを、クラビノーバで受信して再生させることができます。

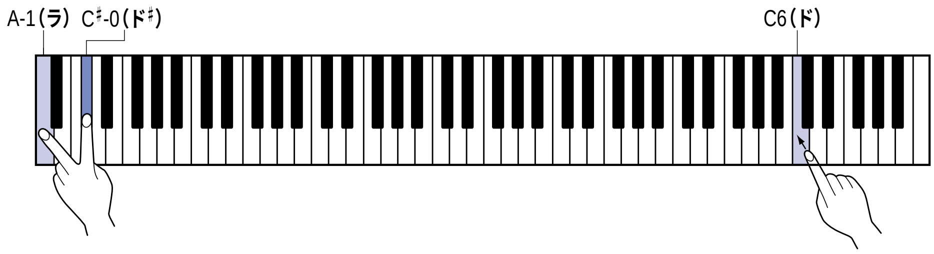
Point クラビノーバでは、クラビノーバ本体のパネル設定や手弾き音は、送信されてくるプログラムチェンジ(音色切り替え)などのチャンネルメッセージから影響を受けません。

デモ曲モード中は、MIDI受信を行いません。

ローカルコントロールON/OFFの設定

通常、クラビノーバの鍵盤を弾くと本体内部の「音源部」から音が出ます。この状態は「ローカルコントロールON」と呼ばれます。「ローカルコントロールOFF」にすると、「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもクラビノーバからは音が出なくなります。一方、鍵盤を弾いた演奏データはMIDI送信されますので、クラビノーバでは音を鳴らさずにMIDI接続した外部の音源を鳴らしたいとき「ローカルコントロールOFF」に設定します。

操作



1 「A-1」(ラ)と「C♯0」(ド♯)の鍵盤を同時に押さえたままにします。

2 「C6」(ド)の鍵盤を押すごとに、ローカルコントロールのON/OFFが切り替わります。

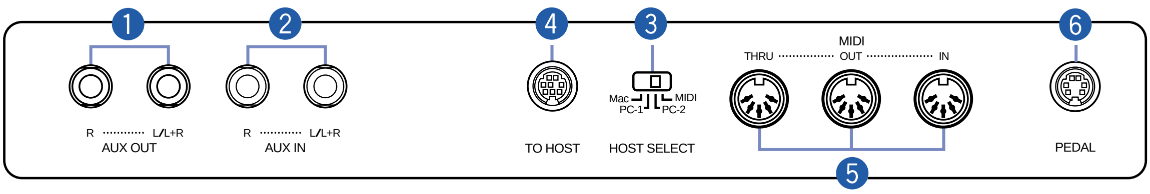
3 「A-1」(ラ)と「C♯0」(ド♯)の鍵盤を離します。

電源を入れたときには、ローカルコントロールONに設定されています。

他の機器と接続する

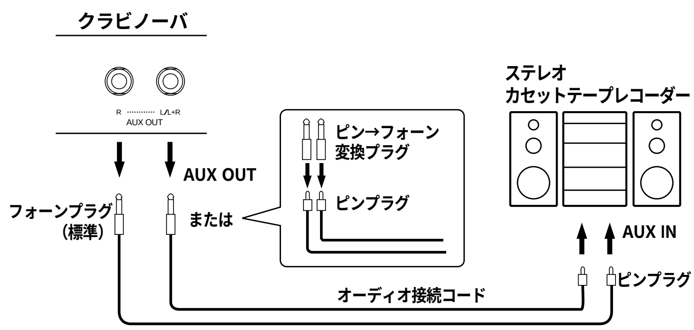
端子について

外部のオーディオ機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



❶ AUX OUT【R】【L/L+R】端子

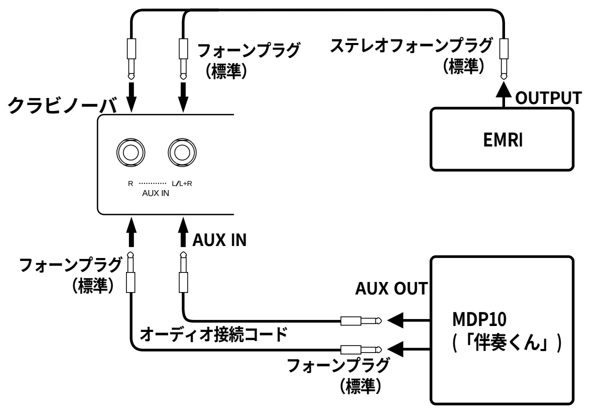
クラビノーバをステレオなどに接続してより大きな音を出したり、カセットテープレコーダーなどに接続して演奏を録音したりできます。オーディオ接続コードを使って図のように接続します。音量はクラビノーバの【MASTER VOLUME】ではなく、ステレオ/カセットテープレコーダーなどの側で調節してください。



クラビノーバのAUX OUTを使う場合、電源を入れるときはクラビノーバ→外部オーディオ機器の順に、電源を切るときは外部オーディオ機器→クラビノーバの順に行なってください。

❷ AUX IN【R】【L/L+R】端子

MDP10(「伴奏くん」)(P28)やEMR1などの外部機器の音をクラビノーバ本体のスピーカーから出すことができます。オーディオ接続コードを使って図のように接続します。



クラビノーバのAUX INを使う場合、電源を入れるときは外部機器→クラビノーバの順に、電源を切るときはクラビノーバ→外部機器の順に行なってください。

AUX OUT から出力した音を、AUX IN に戻さないでください。(AUX OUT から外部オーディオ機器に接続した場合、その機器から再びクラビノーバのAUX IN に接続しないでください。)クラビノーバのAUX IN から入力された音はそのままクラビノーバのAUX OUTから出力されますので、オーディオ系の発振が起こり、正常な再生がなされないばかりでなく、両機器の故障の原因になります。

オーディオ接続コード及び変換プラグは抵抗のないものをお使いください。

AUX IN からの入力音にはクラビノーバ本体の【MASTER VOLUME】は効きますが、【REVERB】は効きません。

クラビノーバの【MASTER VOLUME】はAUX OUTからの出力音には効きません。

モノ入力、モノ出力には、AUX IN【L/L+R】、AUX OUT【L/L+R】をご使用ください。

本編

③ HOST SELECTスイッチ

MIDI機器やパーソナルコンピューターを接続する場合に、機器やパーソナルコンピューターの種類に応じて切り替えるスイッチです。
（詳しくは次項「パーソナルコンピューターと接続する」をご覧ください。）

④【TO HOST】端子

パーソナルコンピューターに直接接続する端子です。
（詳しくは次項「パーソナルコンピューターと接続する」をご覧ください。）

⑤ MIDI【IN】【OUT】【THRU】端子

MIDI接続専用のケーブルを使って外部MIDI機器と接続する端子です。
MIDI端子を使う場合は前頁HOST SELECTスイッチを【MIDI】に設定してください。
（MIDIについては「MIDIに関する設定をする」（P19）をご覧ください。）

⑥【PEDAL】端子

本体のペダルコードを接続する端子です。
（P34からの「CLP-920の組み立て方」をご覧ください。）

パーソナルコンピューターと接続する

パーソナルコンピューター用の音楽ソフトを、クラビノーバの【TO HOST】（またはMIDI端子）とパーソナルコンピューターをつないで楽しむことができます。

クラビノーバを音源として使う場合、クラビノーバにない音色が使われている演奏データは、正しく再生されません。

「パソコン活用マニュアル」について

クラビノーバとパーソナルコンピューターを接続してどんなことができるのか、また接続に必要なものや接続の仕方などについて、わかりやすく説明したオンラインマニュアル（PDF）を、インターネットのホームページ（下記）に掲載しております。閲覧/ダウンロードしてぜひご活用ください。

クラビノーバホームページ
http://www.yamaha.co.jp/product/cl/
マニュアルライブラリー（電子楽器/XG）
http://www2.yamaha.co.jp/manual/emi/index_j.html

クラビノーバとコンピューターを接続する場合、3つの方法があります。

1. コンピューターのシリアルポートと、クラビノーバの【TO HOST】端子を使った接続方法（P23）
2. MIDIインターフェース機器と、クラビノーバのMIDI端子を使った接続方法（P24）
3. コンピューターのUSB端子と、USBインターフェース機器を使った接続方法（P25）

詳しくは次ページ以降をご覧ください。

本編

パーソナルコンピューターと接続する場合は、最初に、クラビノーバとコンピューターの電源を切った状態でケーブル接続、HOST SELECTスイッチの設定を行ない、その後コンピューター → クラビノーバの順番で、電源を入れてください。

クラビノーバの【TO HOST】端子を使用しない場合は、必ず【TO HOST】端子からケーブルを抜いてください。ケーブルを接続したままだと、クラビノーバが正常に動作しないことがあります。

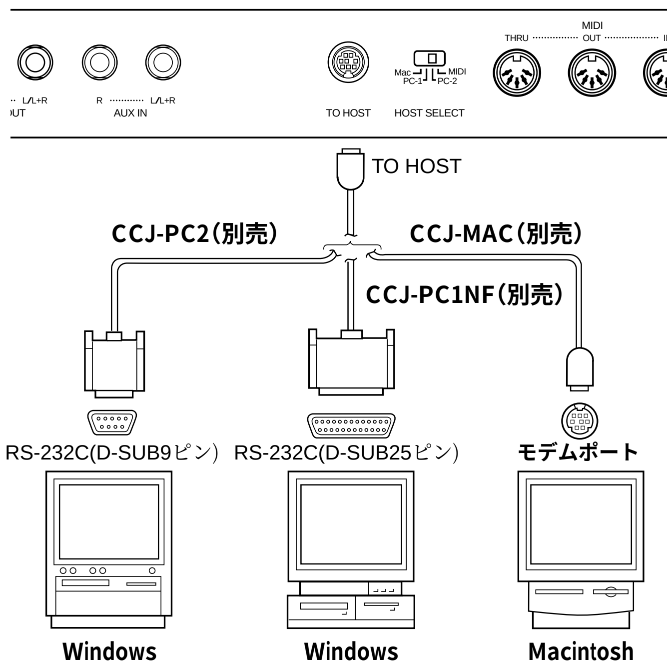
HOST SELECTスイッチを【PC-2】【PC-1】【Mac】に設定しているときは、【TO HOST】端子が使えますが、MIDI端子（【IN】【OUT】【THRU】共）は使えません。（MIDIデータを送受信しません。）
逆に、HOST SELECTスイッチを【MIDI】に設定しているときは、MIDI端子（【IN】【OUT】【THRU】共）が使えますが、【TO HOST】端子は使えません。（データを送受信しません。）

1. コンピューターのシリアルポートと、クラビノーバの【TO HOST（トゥー ホスト）】端子を使った接続方法

コンピューターのシリアルポート（RS-232C端子やRS-422端子）とクラビノーバの【TO HOST（トゥー ホスト）】端子を接続します。
この方法では、クラビノーバがMIDI（ミディ）インターフェース機器（コンピューターとMIDI（ミディ）機器の仲立ちをする機器）の役割も果たすため、専用のMIDI（ミディ）インターフェース機器は不要です。

接続方法

コンピューターのシリアルポート（RS-232C端子やRS-422端子）を、専用のシリアルケーブルで、クラビノーバの【TO HOST（トゥー ホスト）】端子に接続します。



Windows（ウィンドウズ）95/98をご使用のお客様へ（MIDI（ミディ）ドライバーについて）

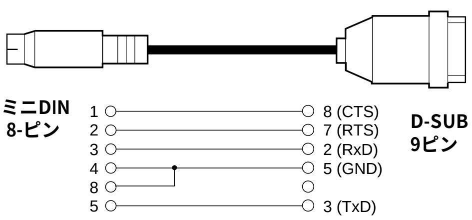
コンピューターのシリアルポートとCLP-920の【TO HOST（トゥー ホスト）】端子を接続して、データのやり取りをするためには、指定のMIDI（ミディ）ドライバー（YAMAHA CBX Driver [Windows（ウィンドウズ） 95/98対応]）をコンピューターにインストールする必要があります。YAMAHA CBX Driver [Windows（ウィンドウズ） 95/98対応]は、インターネットのヤマハホームページ/XGライブラリー→
http://www.yamaha.co.jp/xg
から、ダウンロードして入手することができます。

接続するシリアルケーブルの種類と内部配線図

接続するコンピューターの種類に合わせて、下記のシリアルケーブルを使用してください。

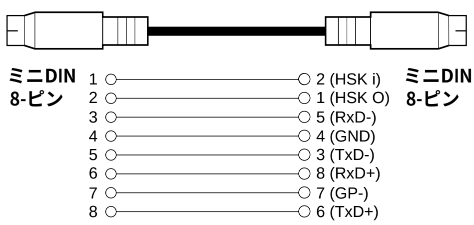
• Windows（ウィンドウズ）用（シリアル端子がD-SUB9ピンの場合）

8ピンミニDIN→D-SUB 9ピンケーブル
（YAMAHA CCJ-PC2または同等品）



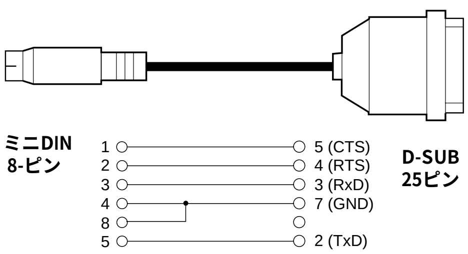
• Macintosh（マッキントッシュ）用

システムペリフェラル→8ケーブル
（YAMAHA CCJ-MACまたは同等品）



• Windows（ウィンドウズ）用（シリアル端子がD-SUB25ピンの場合）

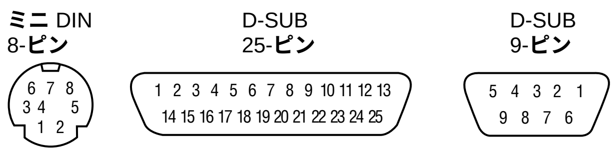
8ピンミニDIN→D-SUB 25ピンケーブル
（YAMAHA CCJ-PC1NFまたは同等品）



• プラグのピン番号

各プラグのピン番号は下記のとおりです。

オモテから見たピン番号



本編

クラビノーバのHOST SELECT(ホスト セレクト)スイッチの設定

接続するパーソナルコンピューターの種類によって、クラビノーバのHOST SELECT(ホスト セレクト)スイッチを切り替えます。

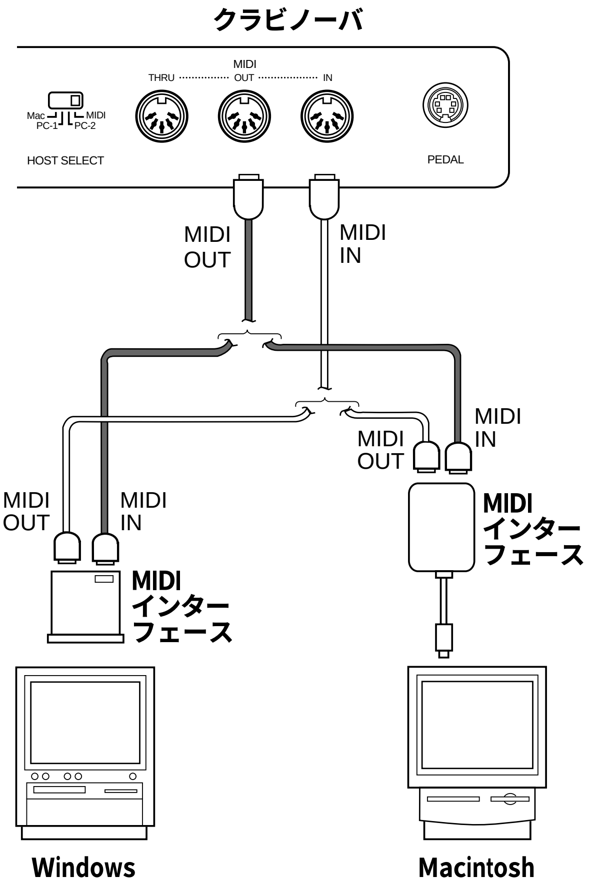
- **Macintosh(マッキントッシュ)：**
  【Mac】(ボーレート=31,250bps、1MHz(メガヘルツ)のクロックを使用)
- **Windows(ウィンドウズ)：**
  【PC-2】(ボーレート=38,400bps)

Point 使用するソフトウェアの種類によって、上記の設定では動作しないものがあります。お使いになるソフトウェアの取扱説明書をよく読んで、適合するボーレートの位置にHOST SELECT(ホスト セレクト)スイッチを設定してください。(【PC-1】のボーレートは、31,250bpsです。)

2. MIDI(ミディ)インターフェース機器と、クラビノーバのMIDI(ミディ)端子を使った接続方法

接続方法

MIDI(ミディ)インターフェース機器を通じてクラビノーバのMIDI(ミディ)端子に接続します。専用のMIDI(ミディ)ケーブルを使います。



Point YAMAHA MIDI(ミディ)ケーブル…
MIDI01(長さ1m、税別価格:800円)
MIDI03(長さ3m、税別価格:1,100円)
MIDI15(長さ15m、税別価格:3,000円)

本編

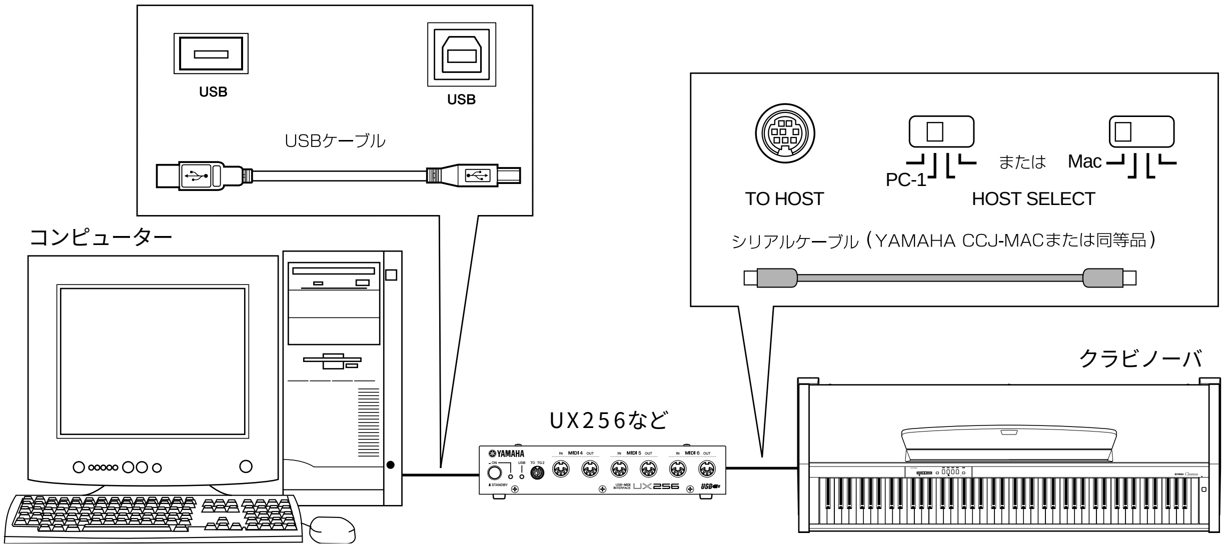
クラビノーバのHOST SELECT(ホスト セレクト)スイッチの設定

クラビノーバのHOST SELECT(ホスト セレクト)スイッチを【MIDI(ミディ)】に設定します。

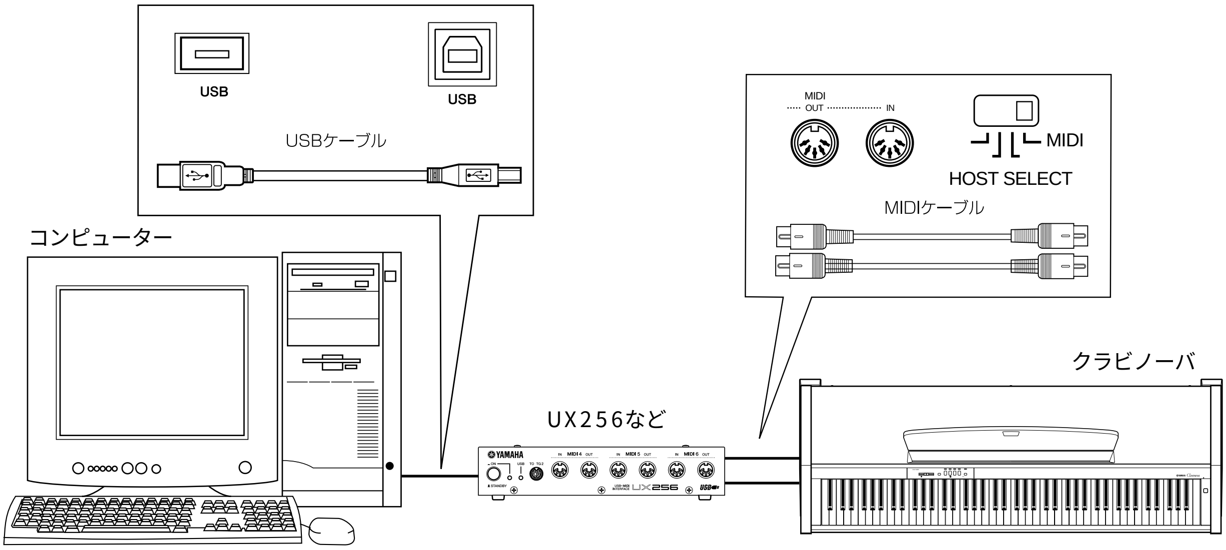
3. コンピューターのＵＳＢ端子と、ＵＳＢインターフェース機器を使った接続方法

コンピューターのUSB端子と、USBインターフェース機器（UX256など）をUSBケーブルで接続します。USBインターフェースに付属のドライバーをインストールします。USBインターフェースとクラビノーバをシリアルケーブル(CCJ-MACなど)またはMIDI(ミディ)ケーブルで接続します。
詳しくは、USBインターフェース機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

・ＵＳＢインターフェース機器とクラビノーバをシリアルケーブルでつなぐ場合



・ＵＳＢインターフェース機器とクラビノーバをＭＩＤＩ(ミディ)ケーブルでつなぐ場合



本編

故障かな? と思ったら

現象	考えられる原因	解決法
クラビノーバの電源が入らない。	電源プラグが差し込まれていません(本体側と家庭用コンセント側)。	電源プラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください。(P8)
【POWER】を押して電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」と音がする。	電気が流れたためです。	異常ではありません。
クラビノーバから雑音が出る。	クラビノーバの近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)。	クラビノーバの近くでは携帯電話の電源を切ってください。クラビノーバの近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	【MASTER VOLUME】が下がっています。	【MASTER VOLUME】を上げてください。(P9)
	ヘッドフォンが接続されています。	ヘッドフォンを抜いてください。(P9)
	ローカルコントロールがOFFになっています。	ローカルコントロールをONにしてください。(P20)
ダンパーペダルが効かない、またはダンパーペダルを踏んでいないのに音が長く響いてしまう。	ペダルコードのプラグが【PEDAL】端子に差し込まれていません。	ペダルコードのプラグを【PEDAL】端子に確実に差し込んでください。(P34からの「CLP-920の組み立て方」を参照してください。)
特定の音域でピアノ音色の音程、音質がおかしい。	ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしております。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音程や音域が異質に感じる場合があります。	異常ではありません。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	クラビノーバの鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。	異常ではありません。

付　録

● クラビノーバをMDP10（「伴奏くん」）と組み合わせて楽しむ方法、その他の資料を掲載しています。

MDP10(「伴奏くん」)を使ってミュージックデータを楽しむ

・ **MDP10とは---**



スピーカー一体型のミュージックデータ再生専用モジュールです。下記にご紹介するミュージックデータをはじめとした幅広い種類のミュージックデータを簡単操作で再生できます。クラビノーバと組み合わせて使うと、ミュージックデータを再生しながらのアンサンブル演奏や練習ができます。

MDP10で再生できる主なヤマハ別売ミュージックデータのご紹介

・**「ピアノソフト」**
ピアノ演奏データです。
内外の一流ピアニストの演奏が収録されています。お手本にもなる正統派の演奏から、華麗なるアレンジによる演奏までお楽しみいただけます。
一部MDP10ではご利用いただけないタイトルもあります。

・**「ピアノ アンサンブル」**
メインのピアノ演奏パートと多音色のバックアンサンブルパートから成る演奏データです。鑑賞するだけでなく、アンサンブルパートをバックにピアノパートをご自身で演奏して楽しむこともできます。楽譜付きです。

・**「ピアノ アソシエ」**
テキストとオーケストラ伴奏データなどが入った専用ミュージックデータを活用するピアノレッスンメソッドです。MDP10でこの専用ミュージックデータを再生して、ピアノレッスンに活用することができます。

・**「XGソングデータライブラリー」**
ヤマハの音源フォーマット「XG」に準拠した曲データです。多彩なジャンルの曲データが豊富に取り揃えられています。

・ **伴奏くんレパートリー集「楽器でうたおう」**
カラオケ感覚でどんな楽器でも気軽にアンサンブルが楽しめる演奏データです。楽譜付きです。

※ **Muma(ミューマ)について**
Muma(ミューマ)とは、ヤマハ独自の音楽データ店頭販売システムです。店頭に設置されているMuma(ミューマ)専用コンピューターで、音楽データをアルバム単位または自由選曲方式でお選びいただき、専用フロッピーディスクに収録してご購入いただけます。ピアノソフトの多くを含む豊富な音楽データが取りそろえられています。

※ 上記およびその他のミュージックデータについて詳しくは、カタログをご覧ください。

クラビノーバとMDP10を組み合わせてミュージックデータを楽しむ方法

クラビノーバとMDP10を組み合わせて使うと、下記のようなことができます。特別な接続は必要ありません。

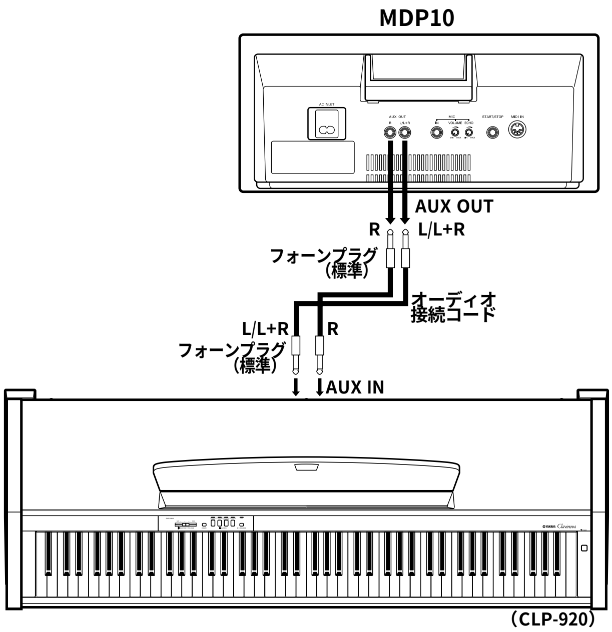
ミュージックデータを再生しながらクラビノーバでアンサンブル演奏

MDP10で曲データの伴奏パートだけ再生しながら、メロディパートをクラビノーバでご自身で演奏して、アンサンブル演奏を楽しむことができます。

ミュージックデータを使ってクラビノーバの練習

- 右手パートと左手パートが別々のトラックに入っているピアノ曲などのミュージックデータを使うと、練習したいパートの再生をOFF(オフ)にしてクラビノーバで片手練習することができます。
- 曲中のフレーズを設定してくり返し再生できますので、練習したい部分を集中して練習することができます。

※クラビノーバとMDP10を接続して楽しむこともできます
クラビノーバとMDP10を接続しなくても上記のような楽しみ方ができますが、下図のように接続すると、ご自身の演奏音と一緒に、曲の再生音もクラビノーバのスピーカーから出すことができ、より豊かな音で楽しむことができます。



※ MDP10の取扱説明書も合わせてご参照ください。

付録

音色一覧

音色名	ステレオ/モノ	タッチによる音の強弱	音色のご紹介
GRAND PIANO（グランドピアノ）	ステレオ	○	フルコンサートグランドピアノから新たにサンプリングしました。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。
E.PIANO（エレクトリックピアノ）	ステレオ	○	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音。タッチの強弱に応じて音色の変化も楽しめます。
CHURCH ORGAN（チャーチオルガン）	ステレオ	×	賛美歌の伴奏などに適した、柔らかい音のパイプオルガン。
STRINGS（ストリングス）	ステレオ	○	大編成弦楽アンサンブルの音。ピアノとのデュアルでも楽しめます。

デモ曲一覧

デモ曲

音　色	曲　名	作曲者
GRAND PIANO（グランドピアノ）	**黒鍵のエチュード**（Etude op.10-5 “Black keys”）	F.F. Chopin
E.PIANO（エレクトリックピアノ ）	**月の光**（Clair de lune）	C.A. Debussy
CHURCH ORGAN（チャーチオルガン）	**オルガン協奏曲第2番**（Organ Concerto Op.4 No.2）	G.F. Händel
STRINGS（ストリングス）	**ブランデンブルグ協奏曲第3番**（Brandenburgisches Konzert No.3）	J.S. Bach

• 上記デモ曲の中には、原曲から編集/抜粋しているものもあります。

基本設定一覧

基本設定（=電源を入れたときの設定）を一覧にしました。

音色選択	GRAND PIANO（グランドピアノ）
デュアル機能	OFF（オフ）
リバーブの機能	ON（オン）
トランスポーズ	0
MIDI（ミディ）送信チャンネル	1
MIDI（ミディ）受信チャンネル	ALL（オール）
ローカルコントロール	ON（オン）

付録

MIDI（ミディ）データフォーマット

1．ノートオン/オフ

[9nH]→[kkH]→[vvH]
9nH ＝ ノートオン/オフ・イベント(n＝チャンネルNo.)
kkH ＝ ノートNo.
(送信:0FH～72H＝E♭-1～F♯7)
(受信:00H～7FH＝C-2～G8)*1
vvH ＝ ベロシティ
(ノートオン＝01H～7FH、ノートオフ＝00H)

[8nH]→[kkH]→[vvH] (受信のみ)
8nH ＝ ノートオフ (n＝チャンネルNo.)
kkH ＝ ノートNo. (00H～7FH＝C-2～G8)
vvH ＝ ベロシティ

*1　ただし音色によって発音可能範囲を超えた場合は、オクターブ単位で折り返して発音します。

2．コントロールチェンジ

[BnH]→[ccH]→[vvH]
BnH ＝ コントロール・チェンジ(n＝チャンネルNo.)
ccH ＝ コントロールNo.
vvH ＝ コントロール値

1）バンク選択

ccH	パラメーター	値(vvH)
00H	バンク選択MSB	00H:ノーマル
20H	バンク選択LSB	00H～7FH

※プログラムチェンジを受信するまで、バンク選択の処理は保留されます。

2）メインボリューム(受信のみ)

ccH	パラメーター	値(vvH)
07H	ボリューム	00H～7FH

3）エクスプレッション

ccH	パラメーター	値(vvH)
0BH	エクスプレッション	00H～7FH

4）ダンパーペダル

ccH	パラメーター	値(vvH)
40H	ダンパー	00H～7FH

5）ソステヌートペダル

ccH	パラメーター	値(vvH)
42H	ソステヌート	00H～3FH:オフ、40H～7FH:オン

6）ソフトペダル

ccH	パラメーター	値(vvH)
43H	ソフトペダル	00H～3FH:オフ、40H～7FH:オン

7）リバーブデプス

ccH	パラメーター	値(vvH)
5BH	リバーブデプス	00H～7FH

※リバーブ・エフェクトに対するセンドレベルを設定します。

3．モード・メッセージ

[BnH]→[ccH]→[vvH]
BnH ＝ コントロール・イベント(n＝チャンネルNo.)
ccH ＝ モード・メッセージNo.
vvH ＝ モード・メッセージ値

1）オール・サウンド・オフ

ccH	コントローラー	値(vvH)
78H	オール・サウンド・オフ	00H

※該当チャンネルの発音中の音を、すべて消音します。ただし、ノートオンやホールドオンなどのチャンネルメッセージの状態は保持します。

2）リセット・オール・コントローラー

ccH	コントローラー	値(vvH)
79H	リセット・オール・コントローラー	00H

※以下のようにリセットされます。

コントローラー	設定値
エクスプレッション	127(最大)
ダンパーペダル	0(オフ)
ソソステヌート	0(オフ)
ソフトペダル	0(オフ)

3）ローカルコントロール(受信のみ)

ccH	コントローラー	値(vvH)
7AH	ローカルコントロール	00H(オフ)、7FH(オン)

4）オール・ノート・オフ

ccH	コントローラー	値(vvH)
7BH	オール・ノート・オフ	00H

※該当チャンネルのオンしているノートをすべてオフにします。ただし、ダンパーがオンの場合は、それがオフになるまで発音は終了しません。

5）オムニ・オフ(受信のみ)

ccH	コントローラー	値(vvH)
7CH	オムニ・オフ	00H

※オール・ノート・オフを受信したときと同じ動作を行ないます。

6）オムニ・オン(受信のみ)

ccH	コントローラー	値(vvH)
7DH	オムニ・オン	00H

※オール・ノート・オフを受信したときと同じ動作を行ないます。

7）モノ(受信のみ)

ccH	コントローラー	値(vvH)
7EH	モノ	00H

※オール・サウンド・オフを受信したときと同じ動作を行ないます。

8）ポリ(受信のみ)

ccH	コントローラー	値(vvH)
7FH	ポリ	00H

※オール・サウンド・オフを受信したときと同じ動作を行ないます。

◆補足

1. ボイス・バンク(MSB、LSB)受信時は、順番に関係なく受け付けた番号を内部バッファーに保存し、プログラムチェンジを受信した時点のバッファー値を用いて実際の音色を決めます。
2. 本機は常にマルチティンバー・モード、ポリ・モードであり、オムニ・オン/オムニ・オフ/モノ/ポリ・モードを受信しても、モードは変わりません。

4．プログラムチェンジ

[CnH]→[ppH]
CnH ＝ プログラムチェンジ(n＝チャンネルNo.)
ppH ＝ プログラムチェンジNo.

プログラムチェンジナンバー

P.C.# = Program Change number

音色名	Bank MSB	Bank LSB	P.C.#
GRAND PIANO	0	112	0
E. PIANO	0	112	5
CHURCH ORGAN	0	112	19
STRINGS	0	112	48

5．システム・リアルタイム・メッセージ

アクティブ・センシング
[FEH]

※200msecごとに送信します。
※一度FEHを受信した後、約400msec以上MIDIからの信号がこない場合は、オール・サウンド・オフ、オール・ノート・オフ、リセット・オール・コントローラーを受信したときと同じ処理をします。

付録

6. システム・エクスクルーシブ・メッセージ（ユニバーサル・システム・エクスクルーシブ）

1）ユニバーサル・リアルタイム・メッセージ

[F0H]→[7FH]→[XnH]→[04H]→[01H] → [ℓℓH]→[mmH]→ [F7H]

MIDIマスターボリューム

※ 全チャンネルの音量が一度に変化します。

※ MIDIマスター・ボリュームを受信したときは、MIDI入力チャンネルのみに効果があり、パネルのボリュームは変化しません。

F0H　:エクスクルーシブ・ステータス
7FH　:ユニバーサル・リアルタイム
7FH　:ターゲットデバイスのID
04H　:サブID #1(機種コントロール・メッセージ)
01H　:サブID #2(マスターボリューム)
ℓℓH　:ボリュームLSB
mmH　:ボリュームMSB
F7H　:エンド・オブ・エクスクルーシブ

または

F0H　:エクスクルーシブ・ステータス
7FH　:ユニバーサル・リアルタイム
XnH　:Xは無視、nは0〜Fを受信
04H　:サブID #1(機種コントロール・メッセージ)
01H　:サブID #2(マスターボリューム)
ℓℓH　:ボリュームLSB
mmH　:ボリュームMSB
F7H　:エンド・オブ・エクスクルーシブ

2）ユニバーサル・ノン・リアルタイム・メッセージ(GM ON)

[F0H]→[7EH]→[XnH]→[09H]→[01H] → [F7H]

ジェネラルMIDIモード・オン

F0H　:エクスクルーシブ・ステータス
7EH　:ユニバーサル・ノン・リアルタイム
7FH　:ターゲットデバイスのID
09H　:サブID #1(ジェネラルMIDIメッセージ)
01H　:サブID #2(ジェネラルMIDIオン)
F7H　:エンド・オブ・エクスクルーシブ

または

F0H　:エクスクルーシブ・ステータス
7EH　:ユニバーサル・ノン・リアルタイム
XnH　:Xは無視、nは0〜Fを受信
09H　:サブID #1(ジェネラルMIDIメッセージ)
01H　:サブID #2(ジェネラルMIDIオン)
F7H　:エンド・オブ・エクスクルーシブ

※ オンを受信することにより、MIDIがリセットされて初期状態になります。このメッセージの実行には、約50msecかかるため、次のメッセージとの間隔を注意してください。

7. システム・エクスクルーシブ・メッセージ（XG規格）

1）XGネイティブ・パラメーター・チェンジ

[F0H]→[43H]→[1nH]→[4CH]→[hhH]→[mmH]→[ℓℓH]→[ddH]→……→[F7H]

F0H　:エクスクルーシブ・ステータス
43H　:ヤマハ
1nH　:n=CLPからの送信時は常に0、受信時は0〜F
4CH　:XGモデルID
hhH　:アドレスHigh
mmH　:アドレスMid
ℓℓH　:アドレスLow
ddH　:データ
¦　:　¦
F7H　:エンド・オブ・エクスクルーシブ

※ データサイズはパラメーターのサイズに一致する必要があります。

※ XGシステム・オンを受信することにより、MIDIがリセットされて初期状態になります。このメッセージの実行には、約50msecかかるため、次のメッセージとの間隔を注意してください。

2）バルクダンプ（受信のみ）

[F0H]→[43H]→[0nH]→[4CH]→[aaH]→[bbH]→[hhH]→[mmH]→[ℓℓH]→[ddH]→……→[ccH]→[F7H]

F0H　:エクスクルーシブ・ステータス
43H　:ヤマハ
0nH　:n=CLPからの送信時は常に0、受信時は0〜F
4CH　:XGモデルID
aaH　:バイト・カウント
bbH　:バイト・カウント
hhH　:アドレスHigh
mmH　:アドレスMid
ℓℓH　:アドレスLow
ddH　:データ
¦　:　¦
ccH　:チェック・サム
F7H　:エンド・オブ・エクスクルーシブ

※ XGシステム・オンを受信すると、必要なパラメーター、コントロール・チェンジ等をリセットし、初期状態になります。このメッセージの実行には、約50msecかかるため、次のメッセージとの間隔を注意してください。

※ XGネイティブ・パラメーター・チェンジメッセージで、データサイズが2または4のパラメーターは、そのサイズ分のデータを送信します。

※ XGバルクダンプのアドレスおよびバイトカウントは、付表1の「MIDIパラメーター・チェンジ表(システム)」を参照してください。付表中トータルサイズで区切られたデータシリーズが一つのバルクになり、そのシリーズの先頭アドレス(00 H、00 H、00 H)のみバルクデータのアドレスとして有効です。

8. システム・エクスクルーシブ・メッセージ（特殊操作子）

[F0H]→[43H]→[73H]→[xxH]→[11H]→[0nH]→[ccH]→[vvH]→[F7H]

F0H　:エクスクルーシブ・ステータス
43H　:ヤマハ
73H　:クラビノーバ
67H　:CLP-920機種ID
11H　:SK特殊操作子
0nH　:コントロールMIDIチェンジ(n=特殊操作子チャンネルNo.)
cc　:コントロールNo.
vv　:値
F7H　:エンド・オブ・エクスクルーシブ

コントロール	オン	ccH	vvH
ボイス・リザーブ	Ch:00〜0FH	45H	00H:リザーブ・オフ 7FH:オン*1

*1　リザーブ・オンの間に受信したボリューム、エクスプレッションは次のキー・オン時から有効になります。通常はリザーブ・オフです。

9. システム・エクスクルーシブ・メッセージ（その他）

[F0H]→[43H]→[1nH]→[27H]→[30H]→[00H]→[00H]→[mmH] →[ℓℓH]→[ccH] →[F7H]

※ マスター・チューニング(XGと後着優先)で、全チャンネルの音程を一度に変えられるメッセージです。

F0H　:エクスクルーシブ・ステータス
43H　:ヤマハ
1nH　:n=CLPからの送信時は常に0、受信時は0〜F
27H　:TG100の機種ID
30H　:サブID
00H　:
00H　:
mmH　:マスターチューニングMSB
ℓℓH　:マスターチューニングLSB
ccH　:ccはなんでもよい。(7FH以下)
F7H　:エンド・オブ・エクスクルーシブ

<付表1>

MIDIパラメーター・チェンジ表(システム)

アドレス(H)	サイズ(H)	データ(H)	パラメーター	記述	初期値(H)	
00　00　00	4	020C〜05F4	マスター・チューン	-50〜+50[セント]	00　04　00　00	※ 020CH以下の値は-50セントになります。
01				1stビット3〜0→ビット15〜12	400	05F4H以上の値は+50セントになります。
02				2ndビット3〜0→ビット11〜8		
03				3rdビット3〜0→ビット7〜4		
				4thビット3〜0→ビット3〜0		
04	1	00〜7F	マスター・ボリューム	0〜127	7F	
05	1					
06	1	34〜4C	トランスポーズ	-12〜+12[セミトーン]	40	※ 28H〜33Hの値は-12〜-1に折り返ります。
7E		0	XGシステム・オン	00=XGシステム・オン		4DH〜58Hの値は+1〜+12に折り返ります。
7F		0	オール・パラメーター・リセット	00=オン(受信のみ)		
トータルサイズ	07					

付録

YAMAHA [Clavinova]
CLP-920 MIDIインプリメンテーションチャート

Date: 1 March 2000
Version: 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 チャンネル 1-16 チャンネル	1 チャンネル 1-16 チャンネル	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × ************	モード1 *1 × ×	ポリモードのみ
ノートナンバー	 音域	15-114 ***********	0-127 21-108	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	○ 9nH, v= 1-127 × 9nH, v= 0	○ v= 1-127 ×	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチベンダー		×	×	
コントロールチェンジ	0,32 07 11 64 66 67 91 94 120 121	○ × ○ ○ × ○ ○ × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × ○ ○	バンクセレクト ボリューム エクスプレッション ダンパー ソステヌート ソフトペダル リバーブデプス エフェクトデプス オール・ラウンド・オフ リセット・オール・コントロール
プログラムチェンジ	 設定可能範囲	○ ******	○	
システムエクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	○ ×	× ×	
その他	ローカルオン／オフ オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○ (123-127) ○ ×	
備考		*1 受信モードは、常にマルチティンバー、ポリモードです。		

モード1：オムニオン、ポリ　モード2：オムニオン、モノ
モード3：オムニオフ、ポリ　モード4：オムニオフ、モノ

○：あり
×：なし

付録

別売品のご紹介

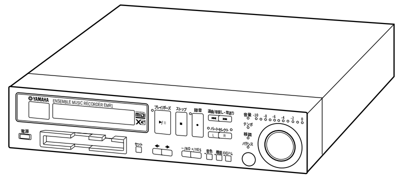
ヘッドフォン HPE-160

¥5,500（税別価格）



アンサンブル・ミュージック・レコーダー EMR1

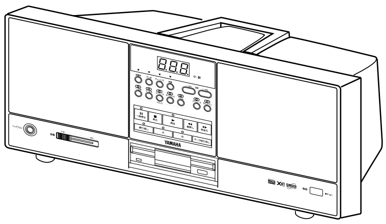
¥88,000（税別価格）



XG音源を備えたシーケンサー（録音/再生機器）です。クラビノーバと接続して「ピアノアンサンブル」を再生したり、クラビノーバにない多彩な音色で演奏/録音したりするのに最適です。

ミュージック データ プレーヤー MDP10（「伴奏くん」）

\58,000（税別価格）



スピーカー一体型のミュージックデータ再生専用モジュールです。「ピアノソフト」（P28）や「ピアノアンサンブル」（P28）をはじめとした幅広い種類のミュージックデータを簡単操作で再生できます。クラビノーバと組み合わせて、ミュージックデータを再生しながらのアンサンブル演奏や練習もできます。（P28）

仕 様

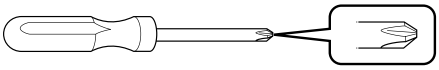
	CLP-920
鍵盤	88鍵（A-1～C7）
最大同時発音数	最大32音
音色	グランドピアノ、エレクトリックピアノ、チャーチオルガン、ストリングス
効果	リバーブ
ボリューム	マスターボリューム
ペダル	ダンパー、ソフト
デモ	各音色デモ曲
付属端子	AUX出力端子（R、L/L+R）：出力インピーダンス600Ω、 AUX入力端子（R、L/L+R）：入力インピーダンス10kΩ/入力感度0.26V、 ヘッドフォン端子×2、TO HOST端子、MIDI端子（IN、OUT、THRU）、ペダル端子
メインアンプ	20W×2
スピーカー	16cm×2
定格電源	AC100V、50/60HZ
消費電力	35W
寸法［間口×奥行き×高さ］ （　）内は譜面立てを立てた場合	1370mm×501mm×843mm （1370mm×501mm×1030mm）
重量	49kg
装備	キーカバー、譜面立て
付属品	専用イス、ヘッドフォン、保証書、ご愛用者カード、取扱説明書（本書）

・仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

CLP-920の組み立て方

- 部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
- 組み立ては、必ず2人以上で行なってください。
- ネジは付属の指定サイズ以外のものは使用しないでください。サイズの違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因になることがあります。
- ネジは各ユニット固定後、ゆるみがないようきつく締め直してください。
- 解体するときは、組み立てと逆の手順で行なってください。

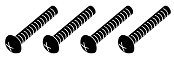
プラス（＋）のドライバーを用意してください。



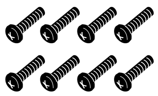
下記の部品を使用します。組み立て手順に沿って順番に部品を取り出し、ご使用ください。

ネジセット

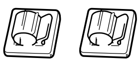
長いネジ（丸頭）:4本 ❶
(6×25mm)

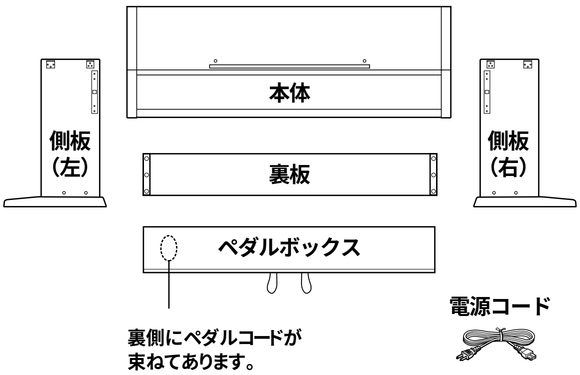


短いネジ（平頭）:8本 ❷
(6×16mm)



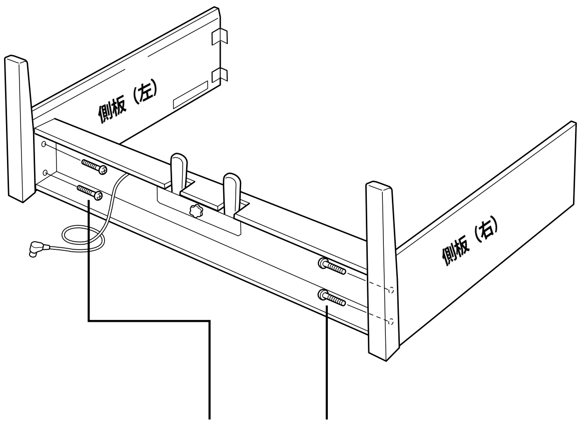
コードホルダー:2個





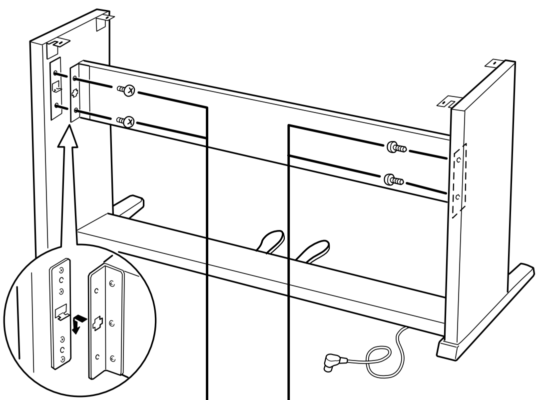
1 ペダルボックスを固定します。

(1)ペダルボックスの底面に束ねてあるペダルコードをほどく。
（外したビニールひもは、手順［4］で使用します。）



(2) 長いネジ（丸頭）❶で固定する。側板のどちらかを先に固定してから、もう片方を固定する。

2 裏板を固定します。



(1)裏板の金具の穴に側板（右）、側板（左）の金具の突起を通し、下にスライドさせる。

(2)短いネジ（平頭）❷で固定する。

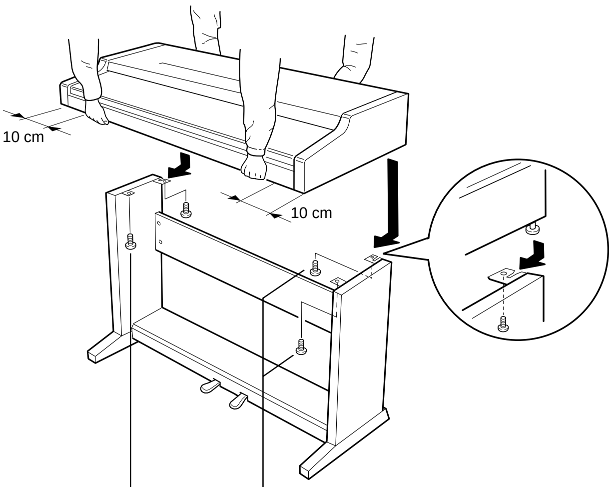
付録

3 本体を乗せて固定します。

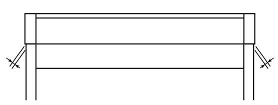
指をはさんだり、本体を落としたりしないよう、十分ご注意ください。

指定した位置以外を持たないでください。

(1)必ず本体底面の端から10cm以上内側を持って乗せる。

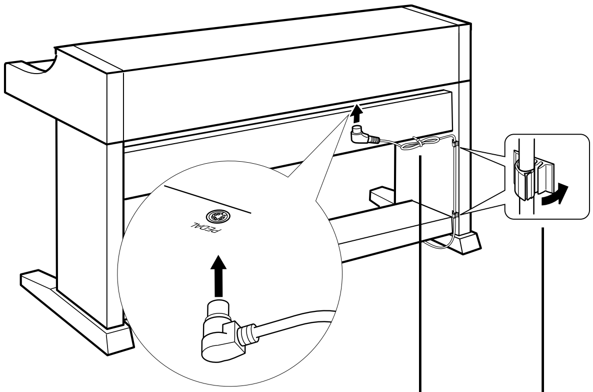


(2)前面から見て、本体の張り出し部分が左右均等になるように調整する。



(3)短いネジ(平頭)❷で固定する。

4 ペダルコードを接続します。

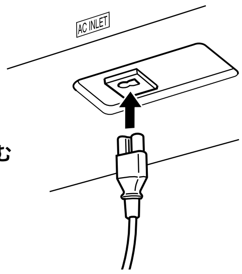


(1)ペダルコードのプラグを【PEDAL(ペダル)】端子に差し込む。

(2)コードホルダーを図の位置に貼り付け、ペダルコードを固定する。

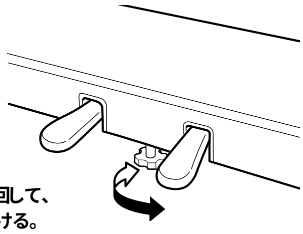
(3)ペダルコードをビニールひもで束ねる。

5 電源コードを接続します。



(1) 電源コードのプラグを差し込む

6 アジャスターを回します。



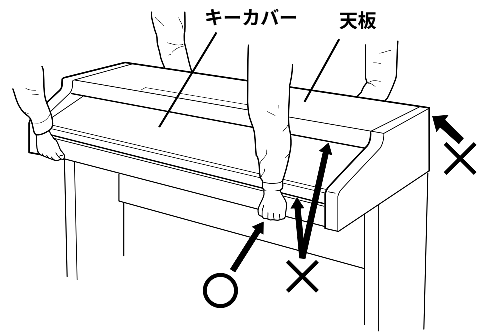
アジャスターを回して、床にぴったりつける。

■ 組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- **部品が余っていませんか?**
  →組み立て手順を再確認してください。
- **部屋のドアなどがクラビノーバにあたりませんか?**
  →クラビノーバを移動してください。
- **クラビノーバがゆれませんか?**
  →ネジを確実に締めてください。
- **ペダルを踏むと、ペダルボックスがガタガタしませんか?**
  →アジャスターを回して床にぴったりつけてください。
- **ペダルコード、電源コードのプラグが、確実に本体に差し込まれていますか?**
  →確認してください。
- **使用中に本体がきしむ、横ゆれする、ぐらつくなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。**

組み立て後、本体を移動するときは、必ず本体の底面を持ってください。

天板やキーカバーを持たないでください。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



(ご注意) クラビノーバを初めて組み立てた時だけ、鍵盤を保護するひもの取り外しが必要です。キーカバーを開けて(P8)、鍵盤の上にある説明紙をご覧いただき、取り外してください。

索引

- この取扱説明書の全体の流れを見たい場合は、P7「目次」をご覧ください。
- 「*」印はそのページの"欄外注"に説明があることを示しています。

数字・ABC順

あいうえお順

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

付録

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げ日から本体は1年間、ヘッドフォンは6カ月です。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例
ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●修理のご依頼

まず本書の「故障かな？と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ修理をお申し付けください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などと合わせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50　ヤマハセンター内	TEL.(011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒983-0015	仙台市若林区卸町5-7　仙台卸商共同配送センター3F	TEL.(022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL.(044) 434-3100
浜松サービスステーション	〒435-0048	浜松市上西町911　ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL.(053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2　ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL.(052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16　ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL.(06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7　(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL.(087) 822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL.(082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL.(092) 472-2134
[本社]			
カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911　ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL.(053) 465-1158

※ 住所および電話番号は変更されることがあります。

付録

ヤマハ株式会社

北　海　道　支　店　〒064-8543 札幌市中央区南10条西１丁目1-50 ヤマハセンター
鍵　盤　営　業　課　☎011-512-6114

仙　台　支　店　〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル
鍵　盤　営　業　課　☎022-222-6025

東　京　支　店　108-8568 東京都港区高輪２丁目17-11
エレクトーン・クラビノーバ推進グループ　☎03-5488-5463

名　古　屋　支　店　〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28
鍵　盤　営　業　課　☎052-201-5145

大　阪　支　店　〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館
エレクトーン・クラビノーバ推進グループ　☎06-6252-2390

九　州　支　店　〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
鍵　盤　営　業　課　☎092-472-2153

電子楽器事業部　〒430-8650 浜松市中沢町10-1
EKB営業部／国内営業第二グループ　☎053-460-3275

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

クラビノーバ ポータブル楽器 インフォメーションセンター
受付日：月曜日～金曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：10:00～12:00／13:00～17:00
フリーダイヤル 0120-834808

クラビノーバ インターネットホームページ
http://www.yamaha.co.jp/product/cl/

この取扱説明書は
エコパルプ（ECF:無塩素系漂白パルプ）
を使用しています。

この取扱説明書は
エコマーク認定の
再生紙を使用しています。

CONTAINS SOYOIL
この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。

M.D.G., EMI Division, Yamaha Corporation

V576730 004APAP3.3-02B0